

むらの話題

地域的话题を
お待ちしております
■総務課・広報係
☎029-885-0340 (内) 205



茨城県統計協会総裁表彰受賞



左から戸ノ岡洋一さん、塚本芳郎さん、杉山満さん

長年にわたり、統計調査員として各種統計業務の発展に多大な貢献をされた塚本芳郎さん、杉山満さん、戸ノ岡洋一さんが「茨城県統計協会総裁表彰」を受賞され、2月19日に村長から表彰状の伝達を受けました。統計調査員は、国勢調査をはじめ、様々な統計調査に従事し、調査への協力依頼や調査票の回収・整理などを行っています。集められた統計データは、国や地方公共団体をはじめ、学術研究や経営の現場など様々なところで広く利用されており、私たちの暮らしを支える、とても重要な役割を担っています。皆さんの統計業務への精力的な活動に敬服し、心よりお祝い申し上げます。

木村克己氏に自治功労者表彰



木村克己さんが、村の振興・発展に貢献した民間自治功労者として茨城県町村会から表彰され、2月22日に村長から表彰状の伝達を受けました。

木村さんは、村選挙管理委員会委員長や保護司、茨城県薬物乱用防止指導員などを務められたほか、村成人式の際には、木彫りのメッセージで新成人にエールを送る等、幅広い分野で地域に密接に関わってこられました。その多大な功績が認められ今回の受賞となりました。木村さん、このたびはおめでとうございます。また、これからも地域のためよろしく願いいたします。



コロナに負けず会社経営 キッズ☆カンパニーが村に納税

3月4日、木原小学校6年生が金融教育の一環として行っている「キッズ☆カンパニー」の社長7名のうち、代表の3名が村長室を訪れ、売上の一部である9,190円を「税金」として村に納税(寄附)をしました。

新型コロナウイルスの影響により、例年商品の販売の場としていた“みほ”産業文化・スポーツフェスティバルが中止となってしまったことから、地域産品直売所(みほふれ愛プラザ内)の一角とインターネットによる通信販売のみとなる等、いつもと違う状況の中での商品の選定・PR・販売となりましたが、7名の社長たちは、社員とともに知恵を絞り、試行錯誤しながら商品の選定・開発に取り組み、最後のころには、大人と変わらない、立派な経営者の顔となっていました。

児童たちは、この事業をとおして、お金を得ることの大変さを実感するとともに、大人たちへの感謝の気持ちが生まれ、また、最後までやり遂げたことによって、自分たちの自信にもつながったようです。

最後に村長から、「今回の経験を活かし、夢をもって大きな会社の経営者を目指してください。」とエールが送られました。

児童の皆さん、納税ありがとうございました。



会社名 / 社長名

Dream World	／ 小森 陸 さん
Happy Flower	／ 細谷 望羽さん
After the rain	／ 中原 花音さん
木原っ子スマイル	／ 中泉 琴音さん
Happy rainbow	／ 中島 碧唯さん
Memories	／ 沼本菜々美さん
スマイル☆JAPAN	／ 柘植 優鶴さん



おめでとう 美浦所属馬 GI 優勝



第38回 フェブラリーステークス カフェファラオ号



堀 宣行 調教師



鈴木直人 調教助手

2月21日、東京競馬場(1600m・ダートコース)で行われた、第38回フェブラリーステークスにおいて、美浦トレーニング・センター堀宣行厩舎所属のカフェファラオ号が、一番人気に応える見事な走りを見せ優勝しました。

カフェファラオ号は多くのファンからの人気を背負ってのスタート。ゲートが開き好スタートを切ると序盤、中盤と先頭集団の好位置をキープしレースを進める。終盤に入り最後の直線、各馬スパート態勢に入中、カフェファラオ号もスパートをかける。前を走る馬との差をギリギリと詰めると、残り200mの地点で先頭に立つと、迫るライバル達を振り切って先頭でゴール。初のGIタイトルを手中に収めました。

カフェファラオ号の厩務を担当する鈴木直人調教助手は、「普段は、おとなしくて人なつっこく、賢くてまじめで、厩舎にいる時と、外に出た時のONとOFFのスイッチがある馬です。競馬場に到着すると、これからレースなんだというのを理解して、いつものごとくスイッチをONにしました。勝ててうれしいのは当然ですが、力のある馬なので、結果が出てくれてよかったです。」と語ってくれました。また、今後の抱負について何うと「レースでの課題はあるので、普段の調教の中で調整しつつ、出走するレースに向けていい準備をしていきたいです。」と、さらなる活躍が期待できる言葉をいただきました。

カフェファラオ号と鈴木調教助手の今後のますますの活躍が期待されますね。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、厩舎には訪問せず電話による取材とさせていただきます。



みほ文芸

正調俚謡 日和吟社 字結び「立・春」(一字以上詠み込み)

親を奪った津波の恐怖堪えて十年巢立つ春
和えた菜花の小鉢をそえて春をいたたくちらし寿し
寒さゆるんで見つけたみどり春のこちそうふきのとう
忘れられない忘れちゃならぬ春のあの日の大地震
光やわらかな春めく朝に初音驚たどとし
寒さ堪えて膨らむ蕾春を呼び込む梅の花
仮設暮らしも十年続き北に再び春が来る
一つ二つと膨らむ蕾春の陽ざしを待つさくら
桜咲いても宴も失せりや春は名のみコロナ禍
立てば歩めの思いはいつも子等を気づかい逝った母
庭の紅梅花つきほめて散歩途中の立ち話
牛のよだれも流れる土堤にやつくし坊やも揃え立つ
森羅万象春を待った試練に勝ち誇れ
春を迎えた我が家の庭は可愛い芽を出し開花待つ
梅や桜と誘われ嬉し春の匂いも消すコロナ
春にリセット一枚脱いで踊る自転車風を切る
母と歩いた桜の下を春の思い出懐かしむ
冷えてきたねと甘酒沸かしする楽しみ春の雪
立場変われば春こそ嫌と花粉気になる鬱の日々
とかく世間はうるさいものよ春はつまづく畏がある
やれば出来ると褒めてはみたが脚立片付け仕舞う我

三月の俳句(題 当季雑詠)
夫の忌や梵字に絡む春の風
飛行機雲小指のごとき甘藷を掘る
八十路にもゴディバの届く小春かな
村の朝静寂の中に初音聞く
大試験終えて姪っ子大の字に
裸木のすそにめくるあさしらげ
入学を待ち膨らむランドセル
耐えて来し被災十年吾子巣立つ
未曾有なか子等は元気に卒業す
老いふたり窓辺に小さき紙びいな
赤や白一重八重にと庭椿
春炬燵歳時記枕旅の夢



田島草実 高橋一步 沼寄朋香 山崎笑子 酒川夢花 上野八千代 石戸律華 伊藤葉子 増尾青蓮 長谷川悦子 山岡亜子 飯塚筑風 小蘭江久美 木村幸子 山崎泰弘 塚本夏雲 山岸錦洋 門脇悠美 井戸賀蘇道 篠原美千代 関根秀子 (五十音順) 青野安佐子 石毛恵美子 市川紀行 海道民子 木澤はしめ 小林美佐恵 高柳幸子 田島早苗 中島輝子 長田敏笑 増尾尚子 松本秀子